

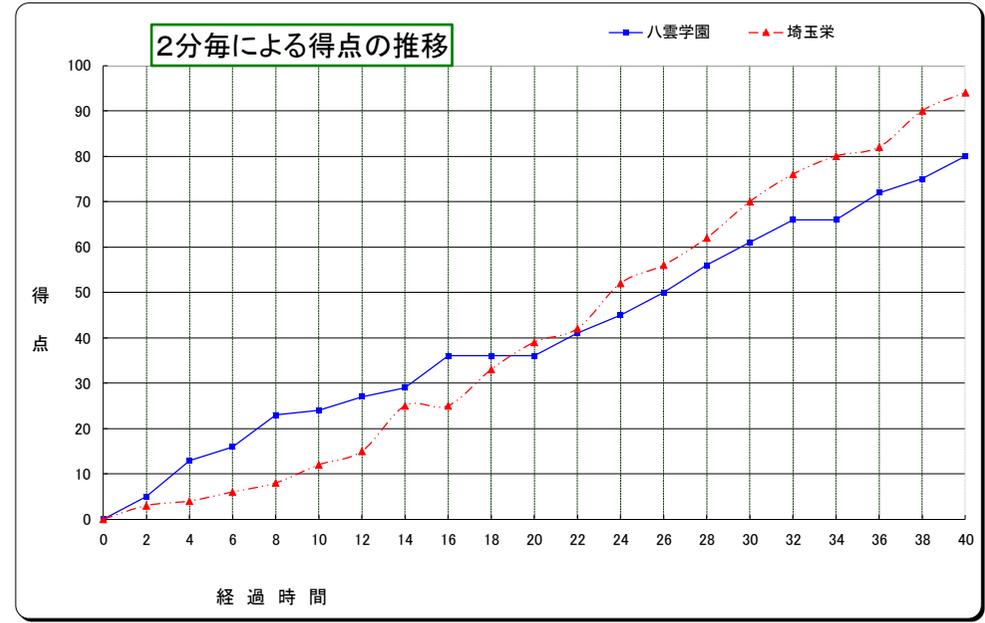
# 平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月9日(土)  
さいたま市記念総合体育館  
Aブロック第2回戦

チームA			チームB
<b>八雲学園 (東京)</b>	<b>80</b>	{ 24 1st 12 12 2nd 27 25 3rd 31 19 4th 24 }	<b>94</b> <b>埼玉栄 (埼玉)</b>

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	奥田 花	23	3	11	5	15	4	11	2	2	3	0	5	1	5
5	大竹 沙樹	18	3	6	2	4	5	6	2	3	7	2	5	1	1
6	長谷川 恵	2	0	0	1	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0
7	妹尾 亜衣美	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
8	青山 かりん	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
9	高橋 美帆	8	0	0	3	5	2	2	3	3	5	2	1	0	5
10	梅木 杏夢	19	5	15	2	4	0	0	3	0	1	2	1	0	4
11	曾根川 幸	10	2	5	0	3	4	4	0	0	5	2	0	0	4
12	浅野 真結子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	滝井 悠梨乃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	木下 璃子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	宇田川 遥菜	0													
16	岡崎 帆南	0													
17	山田 千沙希	0													
18	伊藤 波音	0													
コーチ	高木 優子									2	1				2
		80	13	37	13	33	15	23	14	10	24	8	13	2	21
		確率	35.1%		39.4%		65.2%		計		34				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	小林 杏理	2	0	2	1	2	0	0	5	0	3	2	1	0	4
5	ナウタヴァイ 圭理	22	0	0	10	20	2	4	1	4	7	5	1	1	0
6	柿沼 かすみ	15	0	1	6	14	3	6	3	6	1	1	2	0	1
7	萱沼 史織	21	1	1	9	15	0	0	4	4	5	1	6	1	5
8	目 千紜	7	1	7	1	4	2	2	0	0	1	1	1	0	0
9	佐藤 遥	9	0	1	4	10	1	2	5	0	3	1	3	1	1
10	立岩 侑奈	5	0	0	2	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0
11	新井 李音乃	4	0	1	2	4	0	0	5	1	2	1	1	0	1
12	大迫 実桜	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
13	串田 愛美	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
14	大畑 理佐子	0													
15	武井 みゆき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	今村 ひかり	9	0	0	2	2	5	5	2	3	1	3	5	0	5
17	田島 菜月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	藤野 希生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	一ノ瀬 和之									7	10				1



### 戦評

第1P 両チームハーフコートマンツーマンでゲーム開始。八雲は#5大竹、#11曾根川の3Pからはじまり4連続3Pで一気に16-4。埼玉栄はシュートがなかなか決まらず厳しいスタートとなる。さらに八雲は#11曾根川の連続フリースローで加点。栄も#6柿沼の連続得点でついていく。24-12八雲リードで第1P終了。

第2P 八雲ハーフコートマンツーマン、埼玉栄1-2-2ゾーンをオールコート・ハーフコートとチェンジングディフェンスで八雲の体力を奪う。埼玉栄のスピードに対応できなくなった八雲は埼玉栄の#7萱沼、#8目に得点を与え逆転される。36-39埼玉栄リードで第2P終了。

第3P 両チームハーフコートマンツーマンから入る。埼玉栄のディフェンスは厳しいが八雲の#4奥田は頑張りついていくが、埼玉栄の#7が振り切るがごとく連続得点、このピリオド15得点の活躍。61-70埼玉栄がリードを広げ第3P終了。

第4P 両チームハーフコートマンツーマン。埼玉栄のスピードとプレッシャーに八雲は体力を奪われ徐々に離され66-76でタイムアウト。八雲はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけたいが、チャンスがなかなか来ない。埼玉栄は1-2-2ゾーンに変化、埼玉栄の早いプレーに八雲は#11の3Pで対応、お互い一歩も譲らず点差はそのまま残り3分になる。プレッシャーをかけ続ける埼玉栄は一気に加点、八雲を引き離し80-94で埼玉栄の勝利。

		94	2	15	37	74	14	21	26	26	34	15	20	3	18
		確率	13.3%		50.0%		66.7%			計	60				

主 審	星野 由貴
-----	-------

副 審	山田 健一
-----	-------

記入者	坂本 正弘
-----	-------